

(作成年月日) 2026年2月8日

## 臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

### [研究課題名]

切除不能進行膵がんにおける Asian Working Group for Cachexia (AWGC) カヘキシア診断基準の予後的意義：後ろ向き観察研究

### [研究の目的]

手術による切除ができない膵がんまたは再発膵がんに対して化学療法を行っている患者さんを対象とした研究です。癌患者さんは、カヘキシア（悪液質）とよばれる栄養が身につかない、体重が増えずに瘠せてしまうような状態になることがあります。2023年に Asian Working Group for Cachexia (AWGC) という研究機関が、アジア人に特化したカヘキシア診断基準を発表し、臨床現場での有用性が注目されています。治療開始前にこの診断基準を満たすかどうか、治療効果や予後に影響するのかを調べます。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

2019年1月～2025年8月に高松赤十字病院腫瘍内科または香川大学医学部附属病院腫瘍内科でがん薬物療法を受けた切除不能進行・再発膵癌患者さんを対象とします。

#### ○利用する情報

年齢、性別、身長、PS（パフォーマンスステータス：全身状態の指標）、進行度（術後再発、転移性、局所進行）および診断日、画像検査結果、体重、看護記録、血液検査結果（CRP）、治療開始日、治療薬、治療が終了した日、死亡日

#### ○上記情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

### [外部からの情報の提供]

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、電子システムを使用して、高松赤十字病院腫瘍内科より香川大学へ提供されます。

### [研究組織]

#### <研究機関及び研究責任者>

香川大学医学部臨床腫瘍学 教授 辻晃仁

#### <既存試料・情報の提供のみを行う施設およびその施設の提供責任者>

高松赤十字病院腫瘍内科 部長 西内崇将

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

住 所：香川県木田郡三木町池戸 1750-1

施設名：香川大学医学部附属病院がんセンター 医員 作山浩希

電話 087-898-5111 (代表)

FAX 087-891-2296

E-mail [hirocchi716@gmail.com](mailto:hirocchi716@gmail.com)